委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】

受託団体名　公益財団法人　神戸YWCA

1. 事業名称

神戸YWCA『地域日本語教育実践プロジェクト』

2. 事業の目的

既に日本社会は、様々な文化、国籍、宗教を持つ人たちとの多文化共生社会になりつつある。
日本語を母語としない外国籍や日本国籍の人たちも増加しており、日本語が不自由なことに加え、
文化的差異から、日本社会に馴染めず、生活していく上に必要な情報（職探し、子育てに関する案内等）も得ることが難しく、地域の中で孤立している人々も多い。
　その状況に対応する地域の支援団体(生活相談、医療相談等)、行政の取組（生活支援、自立支援等）や日本語教室はたくさん存在し、地道な活動の積み重ねによりそれぞれが専門とする支援に力を注いでいる。しかしながら、これら同じ目標と目的を共有する各機関が、他団体との連携・協働体制を組んでともに活動するということは、まだまだ活性化されていない。公益財団法人神戸YWCAは、地域にあって弱者の側に立った活動を目指している。その方針のために地域の人々や団体、諸機関と連携・協力して、地域活動を実践してきた。
　前年度の取り組みは連携関係を作り上げることに重点が置かれたが、今年度は関係をより強化し、効果的な活動に発展させたいと考え、具体的な連携・協働体制を作り上げるべく、以下のことに取り組んだ。

① 前年度に出てきた課題に深く取り組むために、それぞれの取組と課題と成果とを定期的に会議等で共有
② 共有された課題に協働で取り組むための講座等を企画・運営
③ これらの活動を発展させ、外国人と地域住民、および外国人と彼らが直接接することになる行政の人々との関係を構築する

上記の活動により、日本事情に疎く日本語が不自由な人たちが地域での生活になじみ、日本社会で自立しできるための日本語教育をより効果的に提供できると考えた。また、地域在住の日本人が外国人と接するための具体的なノウハウを得ることによって、ともに共生できる社会を作るための関係づくりが出来ると考えた。地域住民の意識を変えることで、生活する者同士としての支援の幅が広がることが期待できる。

3. 事業内容の概要

①運営委員会の構成と運営：様々な立場から外国人生活者支援を行っている機関・団体・個人がメンバーとなり、課題と取組の成果を共有し、協議する。そして、将来的、長期的支援の目標を達成するために必要な具体的な取組について企画する。
②中核委員会：それぞれ専門性を持つ団体、個人が会議を持ち、運営委員会で企画された取組を実施していくために協議し、実行する。
③取組1：地域住民に向けた、多文化理解と「やさしい日本語」普及活動。また行政における「やさしい日本語」使用のための普及活動
④取組2：外国人生活者に向けた、日本事情理解と日本語教室の実施
⑤取組3：イベントの実施。取組1、2で培ったそれぞれのコミュニケーションスキルを活かし、交流の機会を作り共同作業を行う。

4. 運営委員会の概要

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年5月8日 15:00～17:00	2時間	神戸YWCA会館	水野マリ子、八乙女悦範、もりきかずみ、斎藤明子、飛田雄一、櫻井かおり、寺内真子	今年度の方針の策定	生活日本語のレベル設定について 取組3の連携の方法

2	平成26年9月16日 15:00～17:00	2時間	神戸YWCA会館	水野マリ子、八乙女悦範、もりきかずみ、斎藤明子、飛田雄一、福井武司、櫻井かおり、寺内真子	これまでの経過報告と今後の方針について	生活日本語の学習者について。 取組3の地域との連携の方法
3	平成27年2月25日 15:00～17:00	2時間	神戸YWCA会館	水野マリ子、八乙女悦範、もりきかずみ、斎藤明子、飛田雄一、福井武司、櫻井かおり、寺内真子	今年度の振り返りと今後に向けて	修了生の今後の導き方 共生に向けた取り組みの定着に向けて

5. 取組についての報告

○取組1：日本人対象「やさしい日本語」普及活動

（1） 体制整備に向けた取組の目標

地域住民、行政の日本人を対象に、外国人に対してコミュニケーションが取りやすい日本語の使い方を普及させる。同時に外国人との実際のコミュニケーションの機会を作る。各機関、団体がそれぞれ連携・協働しながら、講座を実現する。行政の職員が、外国人に「やさしい日本語」で対応できるよう、行政との連携において、講座を実施する。

（2） 取組内容

外国人生活者には、地域の日本社会にとけこみ、ともに生活するために、日本語の基礎的な理解と運用に加えて、日本人とのコミュニケーションに必要な日本語の力が求められる。
そして、受け入れる日本人社会の側は、外国人生活者とのコミュニケーションをはかるための、外国人に理解されやすい日本語の使用を意識することが大切である。加えて言葉だけではなく、外国人が日本で生活していることの背景や、行政が行っている外国人に対する施策を知ること、また多文化理解の試みなども必要になっていくる。
以上の目的のために「やさしい日本語」講座を実施した。まずは、異文化の意識の変換から入り、次に普段使っている日本語をどのようにコントロールすれば、外国人に理解されやすい日本語になるか、という切り口で、ワークショップ形式で、神戸YWCA近隣の地域において実施した。地域の自治会、社会福祉協議会、地域で活動するNGO、行政などとの連携によって受講者を確保する。さらに、実際に外国人に接し、やさしい日本語を試してみる体験も企画した。（うち1回は台風のため、実施できなかった）。これに続く取組3では、地域在住の外国人、および、取組2「生活のための基礎日本語コース」で日本語を学んだ外国人生活者が参加し、「やさしい日本語」の必要性を実感してもらった。
また、即「やさしい日本語」が必要とされる行政などの窓口業務を担当する職員を対象に講座を実施した。行政で作成する配布物をやさしい日本語を使って書き換えるトレーニング、また口頭で内容を説明するトレーニングも盛り込んだ。昨年同様、やってよかったという反応が多かった。
行政関連では、講座と並行して、行政職員に配布するリーフレットの作成も始めた。これは「やさしい日本語」で、外国人とコミュニケーションを取る際に手軽に利用できるよう考えたものである。手始めに役所の市民課における「異動届」を対象にした。どのような声かけによって、的確に外国人が欄を埋めることができるか、何回もの試作及び調査など試行錯誤を経て、パターンが決まったのは年度後半である。分かったことは、公的文書のわかりにくさである。単に語彙の言い換えでは伝わらないものが多く、日本人でもその表現が何を意味するのか、何を要求されているのかわかりにくい。今、地域住民と外国人の共生を考えるのならば、そのツールとして、日本語教育の考え方、実績が役立つと実感した。

（3） 対象者　　地域住民、行政等の窓口担当者など。

生活のための基礎日本語コースで日本語を学んだ外国人。

（4） 参加者の総数　103　人

出身・国籍別内訳

中国	1人	インドネシア	人	エジプト1人、ノルウェー人1人、
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	100人	

（5）　開催時間数（回数）　５ 時間　　（全 ３　回）

（6）　取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年10月3日 18:30～17:30	1時間	若菜地域福祉センター	23人	中国（1人），日本（20人）),エジプト（1人),ノルウェー（1人）	やさしい日本語	異文化理解と「やさしい日本語」の考え方を伝える。	水野マリ子 斎藤明子	
2	平成26年10月3日 13:00～15:00、 15:00～17:00	2時間×2回	神戸市垂水区役	80人	日本（80人）	やさしい日本語	異文化理解と「やさしい日本語」の考え方と実践	水野マリ子 斎藤明子	

（7）　参加者の募集方法

①地域住民向けでは、神戸市中央区社会福祉協議会、自治会、民児協（民政委員、児童委員）などのよびかけ。
②行政むけでは、神戸市垂水区役所での研修として各課の職員が参加。

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）

①地域住民向け:
外国人には英語で話さなければならない、またカタカナなら分かるなどの一般住民の思いこみをただすことから始め、外国人の考え方の違い、習慣へ言及し異文化への気づきを促した。次いで、普段使っている日本語のわかりにくさを実感してもらい、どのような表現を用いればわかりやすくなるか、考えてもらった。
②行政向け:
①同様異文化理解から始め、次いで「やさしい日本語」の考え方を示した。実際の行政ではどのような日本語が用いられているか、行政文書やお知らせの例を出して考えた。単に語彙易しくするのではなく、どのように言い換えれば、理解されやすいか先の文書を書き換える作業を行った。作業は各課毎に行い、その課でのお知らせや文書を対象とした。最後に書き換え例を共有した。母語である日本語の難しさ、また外国人に対応するときの言葉のコントロールの必要性に気づいてもらった。この考え方は高齢者への対応にも応用できるという意見も出た。

（9）　取組の目標の達成状況・成果

①地域住民向け
この普及活動の達成状況は、実際の場面を設けることによって検証できた。
取組1に続く取組3では、実際に地域在住の外国人と交流する機会を設けた。そのお誘いのちらし作成では、さっそく「やさしい日本語」を意識した文面になっていた。また、交流会や目標であった防災訓練において、参加した外国人に積極的にやさしい日本語で話しかけ、コミュニケーションをとる風景があちこちで見られた。
②行政向け
講義後半では、上記のように実際に担当の課で使われているお知らせの文書、また区役所内での諸手続きのやり方案内の文書を対象に、やさしい日本語への書き換え、言い換えの試作版作成に取り組んだ。この時5，6人のグループメンバーが全員積極的に参加、アイディアを交換し検討していた。必要度の高さが分かった。また最後にアンケートを実施。92%が役に立ったという回答が得られた。

行政向けやさしい日本語版公的文書の作成は、まず一番必要な「異動届」に取り組んだ。外国人が役所に来た場合、どこへ行けばいいかという案内から始まって、何の目的で来て、どの届を書くのか、をスムーズにコミュニケーションする必要がある。役所におけるその過程を理解し、外国人の側に立てば「異動届」では、どのような質問から始まり、どのような示唆が必要になるのか、をまず理解することから始めた。次いで、「やさしい日本語」を使って以上の流れを書き換える作業に移ったが、使いやすく効果的な形式を採用するに至るまでに試行錯誤があった。現在、何度も現場の職員（区役所市民課職員、フロアーディレクター）との聞き取り調査、やりとりを経て、試行版を作成した。今後はそれを実際に使ってその結果をモニターし、改訂を重ねるという作業が残っている。

（10）　改善点について

①地域住民向け
今回、神戸YWCAバザーにおいてもう1回やさしい日本語講座を実施する予定であった。同時に生活日本語コースで日本語を学んだ学生が、自国の料理を作り自国の衣装を着て、カフェ形式で持てなす企画もあった。日本人は今学んだ「やさしい日本語」を実際にすぐに応用してみる、という企画であった。残念なことに、台風によってバザーは中止になり実施できなかった。しかし、この形は日本人と外国人の接点となる機会である。毎年あるバザーの場を今後もこのような機会として使って行きたい。
地域との交流は蜜になってきている。取組3における交流会や防災訓練などにも外国人参加者が増えた。（前年度はゼロ）しかし、1年に1、2回の交流では、住民の意識も保持しにくい。それを継続するべく、いろいろな交流のチャンスを作って行く努力が必要であると考える。
②行政向け
前年度は神戸市中央区、今年度は垂水区で実施した。前者は外国人住民が10%を占め、その割合が非常に高い地域、後者は中央区に比べると少ない地域であるという特徴がある。そのため、後者の職員の参加意識は、当事者意識というより今後の参考のために、という意識が感じられた。地域毎に事情が異なるのは当然のことで、今後は講座の内容はその地域にあったものを用意する必要があると感じた。

行政向けやさしい日本語版公的文書の作成は、中央区職員の大きな協力を得て試作版までこぎつけることができた。引き続き今後も協力をお願いしたと考えているが、普及するにあたり試作版を使用してもらえる協力者を増やしていく必要がある。忙しい業務の中で協力していただく職員を増やすのはなかなか難しいのでは、と懸念される。

○取組2：生活のための基礎日本語クラス

（1） 体制整備に向けた取組の目標

基礎的な日本語教育を受ける機会が乏しい外国人生活者（日本国籍を含む）に対する集中的かつ効果的な日本語教室の実施。生活に必要な基礎日本語を学ぶことにより、日本語学習のモチベーション維持と向上を図り、日本社会で自立した生活を営む自信をつける。

（2） 取組内容

事業の概要で記載した日本語が不自由な外国人（日本国籍含む）が抱える課題をふまえ、基礎的な日本語を身につけるための日本語教室を実施する。
日本語力向上を支えるための基礎日本語指導内容は以下の通り
・生活に役立つ日本語を集中的に身につけるためのカリキュラムを用いる。
同時に、誤解を招かないような丁寧で正しい日本語の話し方の習得を目指す。
・基礎的なひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読み書き
・コミュニケーション力をつけるための会話中心の授業。発音指導を含む。
・運用力をつけるためのに日本語文法の構造理解
・日本の文化と習慣を取り入れた会話練習

（3） 対象者　長期滞在者及び生活者で、来日してから正式な日本語教育を受けていない16歳以上の日本語が不自由な外国人生活者（日本国籍を含む）。

（4） 参加者の総数 27 人（第1期、第2期を引き続いて受講した受講生が1名いたため）

出身・国籍別内訳

中国	3人	インドネシア	人	
韓国	1人	タイ	1人	インド（2名）、スペイン（2名） ドイツ（1人）、オーストラリア（1名） コロンビア（1名）、アフガニスタン（1名） パキスタン（1名）、トルコ（1名）、イラン（1名）
ブラジル	1人	ペルー	4人	
ベトナム	1人	フィリピン	4人	
ネパール	人	日本	1人	

（5） 開催時間数（回数） 109.5 時間 （全 43 回 ※全45回を予定していたが欠席により2回休講となった。

（6） 取組の具体的内容

第1期

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 6月9日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	12人	インド（2人）, スペイン（2人）、ペルー（1人）、ドイツ（1人）、フィリピン（1人）、オーストラリア（1人）、コロンビア（1人）、中国（1人）、アフガニスタン（1人）、パキスタン（1人）	自己紹介	自己紹介 ・～にすんでいます。 ・～からきました。 ・家族は～人です。 ・息子は～さいです。 ・～は～です/じゃありません ・～も/何人	櫻井かおり（講師）	
2	平成26年 6月10日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	12人	インド（2人）, スペイン（2人）、ペルー（1人）、ドイツ（1人）、フィリピン（1人）、オーストラリア（1人）、コロンビア（1人）、中国（1人）、アフガニスタン（1人）、パキスタン（1人）	指示語 時間を使った表現 時制	・こそあ（もの/場所） ・なん/どこ ・時間（何時） ・から、まで、です ・きょう/きのう/あした/曜日/何曜日 ・仕事、勉強、学校	後藤範子（講師）	
3	平成26年 6月11日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	13人	インド（2人）, スペイン（2人）、ペルー（2人）、ドイツ（1人）、フィリピン（1人）、オーストラリア（1人）、コロンビア（1人）、中国（1人）、アフガニスタン（1人）、パキスタン（1人）	往来動詞文	・行きます/何時に、学校、日本、来ました・帰ります ・いつ/乗り物 で どうやって	福井武司（講師）	

4	平成26年 6月16日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	13人	インド(2人)，スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	形容詞文 他動詞文	・他動詞 ・食べます、飲みます、買います、見ます、勉強します ・どこで ・誰と ・高い/安い/暑い/おいしい/おもしろい/難しい	櫻井かおり(講師)	
5	平成26年 6月17日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	12人	インド(2人)，スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、パキスタン(1人)	動詞文 願望の表現	・復習クイズ ・何をしますか ・たいです ・会話デー/語彙復習	後藤範子(講師)	
6	平成26年 6月18日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	11人	インド(2人)，スペイン(2人)、ペルー(1人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	指示詞 買い物の会話	・この・その・あの ・大きい数字/いくら(買い物)	福井武司(講師)	
7	平成26年 6月23日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	11人	インド(2人)，スペイン(2人)、ペルー(2人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	形容詞文 他動詞文	・形容詞 ・どうですか	櫻井かおり(講師)	
8	平成26年 6月24日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	13人	インド(2人)，スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	他動詞文 ～は～が文	・復習クイズ ・何をしますか ・すきです/わかります/あります/どんな	後藤範子(講師)	
9	平成26年 6月25日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	11人	インド(2人)，スペイン(2人)、ペルー(1人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	病気表現 位置詞使い方	・病気表現 ・～から ・あります/います(存在文) ・位置詞	福井武司(講師)	
10	平成26年 6月30日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	11人	インド(1人)，スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	名詞文、形容詞文の過去形	・名詞・形容詞 ・過去 ・どうでしたか ・どっち	櫻井かおり(講師)	
11	平成26年 7月1日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	12人	インド(1人)，スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、フィリピン(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	授受表現 動詞の文法	・復習クイズ ・～へ～に行きます ・やりもらい/電話をかけます/メールを書きます ・ほしいです ・動詞グループ分け	後藤範子(講師)	
12	平成26年 7月2日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	インド(1人)，スペイン(2人)、ペルー(1人)、ドイツ(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、パキスタン(1人)	依頼指示の表現	・てください ・て形	福井武司(講師)	
13	平成26年 7月7日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、パキスタン(1人)	許可の表現 禁止の表現	・今～ています　て形 ・てもいいですか ・～ないでください(てもいいですかとセットで使われるフレーズ) ・ない形	櫻井かおり(講師)	
14	平成26年 7月8日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	11人	インド(1人)、スペイン(2人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、中国(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	普通体の会話	・復習クイズ ・(名詞)ができます ・辞書形とない形を使った普通形の会話 ・辞書形	後藤範子(講師)	

15	平成26年 7月9日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	インド(1人)、スペイン(1人)、ペルー(2人)、ドイツ(1人)、オーストラリア(1人)、コロンビア(1人)、アフガニスタン(1人)、パキスタン(1人)	復習 ｽﾋﾟｰﾁ ポストテストとインタビュー	・復習会話 ・辞書形とない形を使った普通形の会話 ・辞書形ポストテスト/インタビュー実施 ・修了式　既習文型でのスピーチ	福井武司(講師)	

第1期　補講

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 6月9日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	3人	トルコ(1人)、フィリピン(1名)、韓国(1名)	ひらがな 書き・読み	・ひらがな(あかさ行、ん)、 語彙 ・濁音・長音	櫻井かおり(講師)	
2	平成26年 6月10日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	3人	トルコ(1人)、ペルー(1名)、韓国(1名)	ひらがな 書き・読み	・ひらがな(たなは行)、語彙 ・助詞(はへを)、促音		小川佐由理
3	平成26年 6月11日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	3人	トルコ(1人)、ペルー(1名)、韓国(1名)	ひらがな 書き・読み	・ひらがな(まやらわ行)、語彙	斎藤明子(講師)	
4	平成26年 6月16日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	3人	トルコ(1人)、ペルー(1名)、韓国(1名)	漢字 書き・読み	・撥音・拗長音 ・漢字導入(一二三)	櫻井かおり(講師)	
5	平成26年 6月17日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	2人	トルコ(1人)、韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み	・漢字(山川目) ・カタカナ導入 (アカサ行、ン)		小川佐由理
6	平成26年 6月18日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	3人	トルコ(1人)、ペルー(1名)、韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み	・漢字(口大木) ・カタカナ(タナハ行) ・長音	斎藤明子(講師)	
7	平成26年 6月23日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	2人	ペルー(1人)、韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み	・漢字(休本体) ・カタカナ(マヤラワ行)、促音	櫻井かおり(講師)	
8	平成26年 6月25日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	1人	韓国(1名)	漢字 書き・読み	・漢字(他男女安)	斎藤明子(講師)	
9	平成26年 6月30日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	1人	ペルー(1人)	カタカナ 漢字 書き・読み		櫻井かおり(講師)	
10	平成26年 7月1日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	1人	韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み			小川佐由理
11	平成26年 7月2日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	1人	韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み		斎藤明子(講師)	
12	平成26年 7月7日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	1人	韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み		櫻井かおり(講師)	
13	平成26年 7月8日 14:00～15:30	1.5時間	神戸YWCA会館	1人	韓国(1名)	カタカナ 漢字 書き・読み			小川佐由理

第2期

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 11月17日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、タイ(1人)、インド(1人)	自己紹介	・家を訪問する ・実は ・ディクテーション ・漢字導入	櫻井かおり(講師)	
2	平成26年 11月18日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	11人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)、インド(1人)、日本(1名)	提案の会話 文字指導	・寄り道の提案をする ・用事がある ・とにかく ・ちょっと ・ディクテーション ・漢字指導2(トイレ)	後藤範子(講師)	
3	平成26年 11月19日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	10人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)、日本(1名)	注文の会話 文字指導	・店で注文する ・ディクテーション ・漢字指導2(トイレ)	福井武司(講師)	
4	平成26年 11月25日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	依頼の表現 文字指導	・て形/てください、いま～ています ・復習クイズ ・ディクテーション ・漢字指導3(台所)	後藤範子(講師)	

5	平成26年 11月26日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	10人	フィリピン(1人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)、インド(1人)、日本(1名)	許可の表現 禁止の表現 文字指導	・てもいいですか ・ないでください ・なければ なりません ・ディクテーション ・漢字指導3(台所)	福井武司(講師)	
6	平成26年 11月27日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	8人	フィリピン(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)、日本(1名)	普通体の会話 文字指導	・なくてもいいです ・普通体(食べる、食べない) ・趣味 ・ディクテーション ・漢字指導4(ごみ)	櫻井かおり(講師)	
7	平成26年 12月1日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	8人	フィリピン(2人)、中国(1人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	普通体の会話 文字指導	・復習クイズ ・～まえに ・普通体(たべた/たべなかった) ・たいです ・ディクテーション ・漢字指導4(ごみ)	櫻井かおり(講師)	
8	平成26年 12月2日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	経験の表現 好ききらいの表現 文字指導	・たことがあります ・たり、たり ・が好きです/が嫌いです ・ディクテーション ・漢字指導5(駅)	後藤範子(講師)	
9	平成26年 12月3日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	8人	フィリピン(2人)、中国(1人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	普通体の会話 文字指導	・普通体(形容詞、名詞) ・なります ・ディクテーション ・漢字指導5(駅)	福井武司(講師)	
10	平成26年 12月8日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	8人	フィリピン(1人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	～ときの表現の発展 文字指導	・復習クイズ ・とき ・なにをしますかvsどうしますか ・ディクテーション ・漢字指導6(受講生が持ってきたエアコン、洗濯機表示から)	斎藤明子(講師)	
11	平成26年 12月9日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	7人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)	行為の授受 文字指導	・行為のやりもらい ・ディクテーション ・漢字指導6(買い物)	後藤範子(講師)	
12	平成26年 12月10日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	9人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	可能の表現 文字指導	・可能動詞 ・ディクテーション ・漢字指導6(買い物)	福井武司(講師)	
13	平成26年 12月15日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	8人	フィリピン(2人)、中国(1人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	～たらの表現 文字指導	・復習クイズ ・もし～たら ・予定のたら ・ディクテーション ・漢字指導6(買い物)	櫻井かおり(講師)	
14	平成26年 12月16日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	7人	フィリピン(2人)、中国(1人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ブラジル(1人)、タイ(1人)	理由づけの表現 文字指導	・～し、～し～。 ・ディクテーション ・漢字指導6(買い物)	後藤範子(講師)	
15	平成26年 12月17日 10:00～13:20	3時間	神戸YWCA会館	7人	フィリピン(2人)、中国(2人)、ペルー(1人)、イラン(1人)、ブラジル(1人)	全体復習 文字指導	・ディクテーション ・漢字指導6(買い物)	福井武司(講師)	

（7）　参加者の募集方法

阪神間の各市役所、区役所、ハローワーク、日本語ボランティア教室、外国人生活者支援団体、個人支援者等に広報の協力を要請し、幅広く募集する。また、神戸YWCAホームページ、フェイスブック等に掲載する。

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）

①文字指導：耳から日本語を学んだ学習者は、正確には表記できないケースが多い。しかし、生活で「読み書き」が必要な場面も多く、正確な表記は必要不可欠である。それで、授業では学習者にとって難しいとされる拗音（例：きゃきゅきょ）や長音、促音（小さい「っ」）などを積極に取り上げ、定着を図った。毎日のディクテーションをカリキュラムに取り入れ、音を文字に換えることに抵抗がなくなることを目標とした。ディクテーションは、最初は単語レベルで、次に会話で学んだ文の書き取りというように進めた。また漢字においても普段の生活で目にする漢字を率先して取り上げ、漢字の成り立ちなど、今後の漢字学習に生かせるような内容を盛り込んだ。漢字も学んだ時点で、毎日のディクテーションに取り入れた。

②復習クイズ：生活で自然に覚えた日本語は、コミュニケーションはある程度できるものの、不正確で、場面による使い分けができない。そのため、第一期、二期ともに、正確で丁寧な日本語を話すことを目標にし、既製の教科書とは違い、生活に必要な表現から順に紹介、練習した。その練習した文や語彙は、生活で使用しなければ定着が望めない。それで、週の最初には、前週に学んだ文型・語彙の復習クイズを課した。学習が学びっぱなしにならないよう、学習者の意識づけを行い、確実に定着していくことを目指した。クイズはA4が1枚程度、時間は10分程度のものを毎回学習者の理解度に合わせて作成した。毎週クイズがあることで、学習者に復習してくる、という意識づけができた。

（9）　取組の目標の達成状況・成果

参加した学習者は正式な日本語教育を受けたことがない、「生活日本語話者」と呼ばれる人たちがほとんどであった。これまで、聞きかじりの日本語で生活してきた学習者にとって、このクラスで学習した内容は、新鮮な体験となり、これまであいまいだった日本語の文法ルールの整理ができたと考える。このことは、クラス終了時のインタビューで多くの学習者がそのように話してくれたことからわかる。また、文字学習、特に漢字の学習については、町で見かける表示や、普段使っている電気製品に書かれている漢字、スーパーで見かける漢字などの意味がわかるようになった。漢字の偏とつくりに注目させることで、漢字の成り立ちや、漢字語彙の構成を意識することができ、学習者はこれからの漢字学習へのモチベーションを高めたと考える。また、子どもの学校の面談などで、学校の先生の話が少しわかるようになったという学習者や託児が可能なことで安心して学習に集中できたという声もあった。

（10）　改善点について

今年度のプログラムでは、第一期は日本語の知識がゼロに近い学習者、第二期の学習者は第一期に比べ日本語力が高い学習者を集めた。第一期はゼロに近い学習者が多いため、丁寧な日本語への気づきとその定着も良かった。第二期の学習者は教室での気づきは多かったが、教室外に出ると、カジュアルで文法が意識されない日本語に戻る傾向がみられた。今後は第二期のような学習者であっても、正しい日本語に対する意識が教室外でも継続されるようなアプローチ、授業内容を考える必要がある。そのために、取組3で行うイベントなどに更に多くの学習者が参加し、学習した内容に自信が持てるような仕組み、仕掛けを作りたいと考える。

○取組3：多文化共生社会の実現に向けたイベント

（1） 体制整備に向けた取組の目標

取組1，2で学んだ人が、それを実際に活かせる場とする。また地域住民と外国人生活者がともに一つのイベントを作り上げることにより、地域住民と外国人生活者の交流と共生のためのきっかけを作る。

（2） 取組内容

①二宮地区：地域の夏祭り参加イベント（2回）

（3）を 日本人、外国人（誰でも）

（4） 参加者の総数 96 人

出身・国籍別内訳

中国	8人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	5人	エジプト1人、ノルウェー人1人、インド3人、コロンビア1人、パキスタン1人、モロッコ1人
ブラジル	3人	ペルー	2人	
ベトナム	7人	フィリピン	人	
ネパール	1人	日本	62人	

（5） 開催時間数（回数） 15．5時間 （全 8 回）

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍（人数）	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年8月19日13：30～15：00	1.5時間	神戸YWCA会館	13人	タイ（4人）、コロンビア（1人）、パキスタン（1人）、モロッコ（1人）、ベトナム（2人）、エジプト（1人）、ネパール（1人）、ペルー（2人）	夏祭り準備	夏祭り参加のために地域住民による説明。 講師はわかる日本語での説明を実施。および日本語の講義	斎藤明子	
2	平成26年8月24日10：00～11：00	1時間	神戸YWCA会館	6人	中国（3人），ブラジル（3人）	夏祭り準備	夏祭りにおける日本語の使い方復習	斎藤明子	
3	平成26年8月24日11：00～17：00	4時間	二宮神社	6人	中国（3人），ブラジル（3人）	夏祭り参加	地域住民と協力して屋台の準備販売を実施する。	桜井かおり	斎藤明子
4	平成26年8月31日13：00～14：00	1時間	神戸YWCA会館	4人	中国（2人），エジプト（1人）、タイ（1人）	夏祭り準備	夏祭り準備	夏祭りにおける日本語の使い方復習	
5	平成26年8月31日 14:00～17:00	2時間	二宮地域服福祉センター	6人	中国（2人），エジプト（1人）、タイ（1人） 日本人（2人）	夏祭り参加	地域住民と協力して屋台の準備販売を実施する。	桜井かおり	斎藤明子
6	平成27年1月25日	3時間	若菜地域福祉センター	25人	日本（20人） ベトナム（3人）中国（1人）インド（3人）エジプト（1人）	交流会	地域住民と地域在住外国人他が交流する	斎藤明子	
7	平成27年2月1日13：00～14：00	1時間	神戸YWCA会館	3人	ベトナム(2人) ノルウェー（1人）	防災訓練準備	防災訓練における日本語の使い方復習（事前確認）	斎藤明子	
8	平成27年2月1日14：00～16：00	2時間	若菜地区公園	45人	日本（40人） ベトナム（2人）中国（2人）ノルウェー（1人）	防災訓練	防災訓練を体験。交流	斎藤明子	桜井かおり

（7）　参加者の募集方法

①二宮地区：地域の夏祭り
日本人は地域の夏祭り実行組織の呼びかけ。外国人は、神戸YWCAで学んだ外国人に直接呼びかけた。

②若菜地区：防災訓練、交流会の呼びかけ
神戸YWCAおよび地域住民作成のチラシをもって、外国人住民の家を訪問し、直接呼びかけた。事前に自治会で外国人居住者の情報確認をしたうえで訪問した。
神戸YWCAでは、卒業生で若菜地域在住の外国人に趣旨を説明し、呼び掛け役および企画を担当してもらった。

（8）　特徴的な活動風景（2～3回分）
①二宮地区：地域の夏祭り
2回にわたる事前学習の後、当日は各ブースに配属され、準備からお客様担当まで任された。準備はテント張り、雨でぬれた地面の整地など。各ブースは以下の通り：ヨーヨー釣り、焼きそば、射的、くじ売り場、等。地域住民は親切にやり方をおしえ、雑談も楽しんでいた。外国人側も親しく会話を交わす様子が見らてた。またお客さんとも適切な対応ができていて、何の支障もなく会話でき楽しかったとの評価ももらった。

②若菜地区：交流会、防災訓練
防災訓練のためにどうすればいいか、外国人住民（YWCA卒業生）も交えて、住民、行政、YWCAで話し合い、企画した。訓練に参加してもらうためには、まず親しくなること、そのためには日本人住民の顔を知ってもらうことから始めた。まず、戸別訪問。外国人住民の外国語による呼びかけには訪問した家は全て反応してくれ、各国語で作成した案内ちらしを渡すことができた。交流会では、お茶を飲みながらワールドカフェ方式で、各テーブルを外国人が回って、身近な話題や困っていることなどを話し合うことができた。防災訓練では、交流会に参加した外国人住民も参加した。地震体験車に乗ったり、消火を体験したが、その間、住民から話しかける様子もよく見られた。

（9）　取組の目標の達成状況・成果
①では住民側、外国人側から感想を聞いた。日本人側からは好意的な反応が得られた。日本語がたどたどしくても何とか交流で来て、楽しかった。お客さんにもうまく対応できていたとの評価があった。また、外国人側では、自分の日本語でも通じたという自信と、日本人が親切だったという感想が得られた。

②では、異文化理解のチャンスになったという住民側の感想が多かった。交流会で初めて知る異文化事情に驚いたり、やさしい日本語を使えば意外と話しやすいという感触も得たようだ。何より、積極的に親しく声をかけることができて楽しかったという感想だった。
共に協力して何かをするというプロセスを経て、より相手側を理解することの必要性と一歩踏み出すことの大切さが実感できたように思われる。このような取り組みは継続していくことが必要だろう。

（10）　改善点について
地域や行政との連携によって、この取組は幸運な機会を与えられた。しかしこれはあくまでも入口に過ぎない。今後は今回のやり方を継続してより深く共生への道を探る必要があるだろう。
地域での行事は多いが、毎回外国住民を巻き込んだ企画にするには、努力と時間が必要だ。それを推進する意思と実行力に今後も恵まれるかは、行政やYWCA側、地域自治会などの連携の強さにかかると考える。一過性のものにならぬよう、心がけたい。

6. 事業に対する評価について

（1） 事業の目的

既に日本社会は、様々な文化、国籍、宗教を持つ人たちとの多文化共生社会になりつつある。
日本語を母語としない外国籍や日本国籍の人たちも増加しており、日本語が不自由なことに加え、文化的差異から、日本社会に馴染めず、生活していく上に必要な情報（職探し、子育てに関する案内等）も得ることが難しく、地域の中で孤立している人々も多い。
その状況に対応する地域の支援団体(生活相談、医療相談等)、行政の取組（生活支援、自立支援等）や日本語教室はたくさん存在し、地道な活動の積み重ねによりそれぞれが専門とする支援に力を注いでいる。しかしながら、これら同じ目標と目的を共有する各機関が、他団体との連携・協働体制を組んでともに活動するということは、まだまだ活性化されていない。公益財団法人神戸YWCAは、地域にあって弱者の側に立った活動を目指している。その方針のために地域の人々や団体、諸機関と連携・協力して、地域活動を実践してきた。
前年度の取り組みは連携関係を作り上げることに重点が置かれたが、今年度は関係をより強化し、効果的な活動に発展させたいと考え、具体的な連携・協働体制を作り上げるべく、取り組んだ。

① 初年度に出てきた課題に深く取り組むために、それぞれの取組と課題と成果とを定期的に会議等で共有
② 共有された課題に協働で取り組むための講座等を企画・運営
③ これらの活動を発展させ、外国人と地域住民、および外国人と彼らが直接接することになる行政の人々との関係を構築する

上記の活動により、日本事情に疎く日本語が不自由な人たちが地域での生活になじみ、日本社会で自立しできるための日本語教育をより効果的に提供できると考える。また、地域在住の日本人が外国人と接するための具体的なノウハウを得ることによって、ともに共生できる社会を作るための関係づくりが出来ると考える。地域住民の意識を変えることで、生活する者同士としての支援の幅が広がるだろう。

（2） 事業目的の達成状況

今年度は全てにおいて前年度の企画を一歩推し進めることができた。
取組2「生活のための基礎日本語クラス」では、単に言葉を学ぶのではなく、日本で生活するために必要な日本語を
学ぶことができた。日本人の生活習慣や考え方を知り、日本人と共生するための
丁寧で正しい日本語を知ることができた。学習者は、地域のボランティア教室に通う
外国人や、行政及び地域NPOから紹介された、日本で生活するために努力したい
と考える人々である。その期待に応える授業ができた。
取組1「日本人対象やさしい日本語普及活動」行政向けでは、中央区地域福祉協議会、中央区役所市民課、垂水く役所市民課の協力を得て実施することができた。「やさしい日本語」行政向けでは、職員のうち80人が参加し、意図を理解し役立つとの回答が得られた。また、公文書やさしい日本語版作成においては、中央区役所市民課の協力のもと、試作版作成に至った。
取組1「日本人対象やさしい日本語普及活動」地域向けでは、中央区地域福祉協議会、街づくり協議会、自治会などの協力を得て、実施することができた。「やさしい日本語」というツールを得ることで、この取組が取組3「多文化共生社会の実現に向けたイベント」につながった。住民の意識も変わり、積極的に外国人住民に関わろうという意識が出てきた。また外国人住民サイドも、地域で生きていくことが決して難しいことではないことを実感できたようだ。

（3） 地域における事業の効果，成果

「地域との共生」というテーマに沿って活動を実施し、結果として地域住民、行政、在留外国人がそれぞれの立ち位置から一歩踏み出す関係づくりができた。
一つの地域では、「やさしいにほんご」講座から始まり、防災訓練に向けての行政、地域組織、在住外国人との協同作業が、双方の垣根を低くし、これからも付き合っていこうという心情が生まれて生きているのを感じる。同様に、もう一つの地域においても、2回の夏祭り参加に向けての会合や準備を通じて、同様の意識の変化が見られた。
外国人を住民として意識した始まりが、ゴミ問題などマイナスの要因であったのが、そうではない形での付き合いに発展していく過程が見られた。今後このような活動が継続されていけば、特別な時だけの付き合いではなく、普段から普通に付き合える関係づくりへ進めるのではないだろうか。

（4） 改善点，今後の課題について

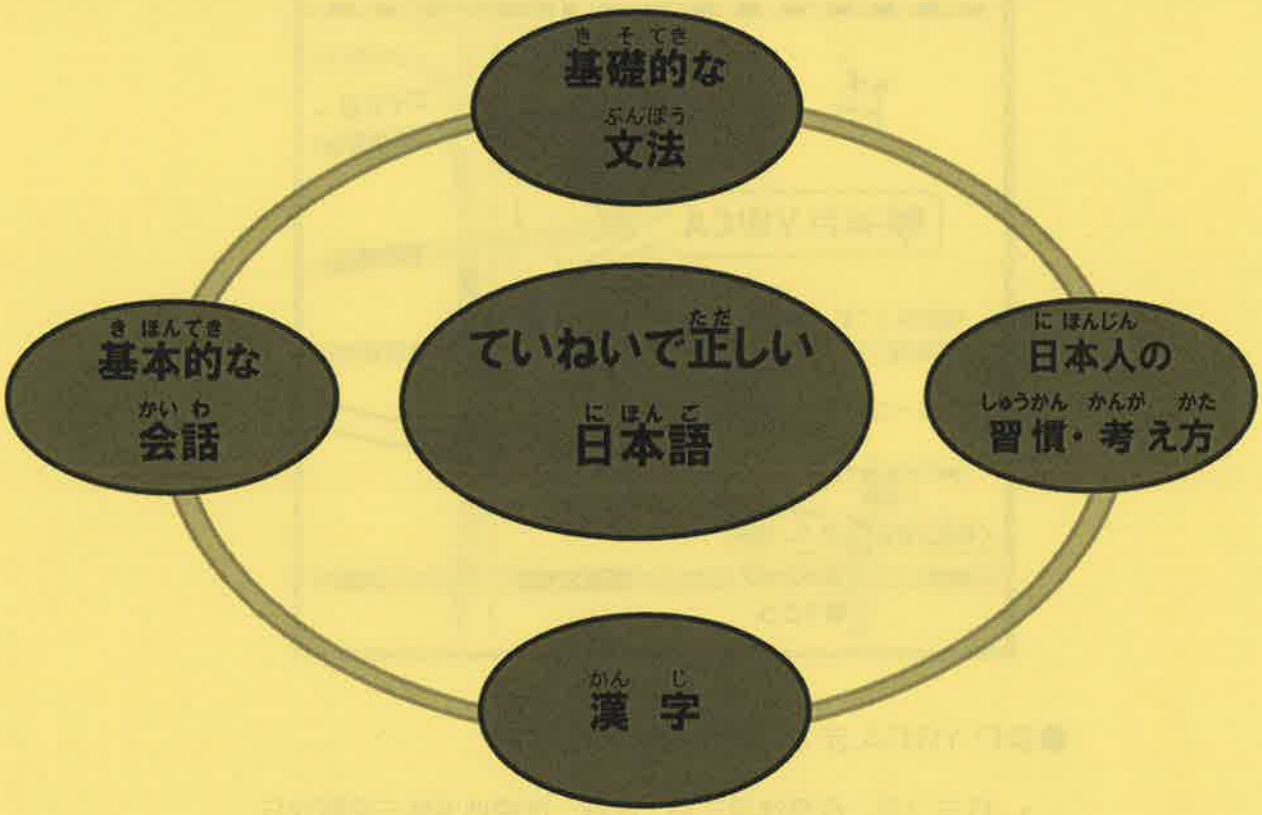
i　現状	今年度は前年度の企画を一歩推し進めることができた。しかし、現状はまだ共生の課題は緒についたばかりである。それぞれの取組において、引き続き「共生」に向けた努力が必要である。
ii　今後の課題	・取組１：行政向けの「やさしい日本語」講座は今後開始できるだろう。しかし、住民向けの場合、様々な工夫が必要だ。バザーや食事会などなにかのイベントを企画する必要がある。 ・取組２：在住が長い学習者において、短期集中型の日本語学習がどの程度の効果を生むのか、探る必要がある。より効果的な日本語習得のための方策を探る。 ・取組３：定期的な行事への外国人住民参加だけではなく、日常的な交流に向けた努力が必要だ。
iii　今後の活動予定	・取組１：「やさしい日本語」講座は、他の行政へ向けてアピールしていく。また、公的文書「異動届」試作版は、試用期間を設けてより実用的な改訂版を作っていく。 ・取組２：次年度の生活日本語のコース開講を目指す。 ・取組３：地域での振り返りの会を持つ。次年度の企画を目指す。

エンパワーするNGO
YWCA

平成26年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

神戸YWCA「生活のための基礎日本語」

日本で生活するために必要な基礎的な日本語を勉強します



◆ 期　間：

第1期・・・ 2014年6月9日（月）～7月9日（水）　**初級レベル**
毎週　月、火、水　全15日

第2期・・・ 2014年11月17日（月）～12月17日(水)　**中級前期レベル**
第1、3、4、5週目（月、火、水）
第2週目（火、水、木）　全15日

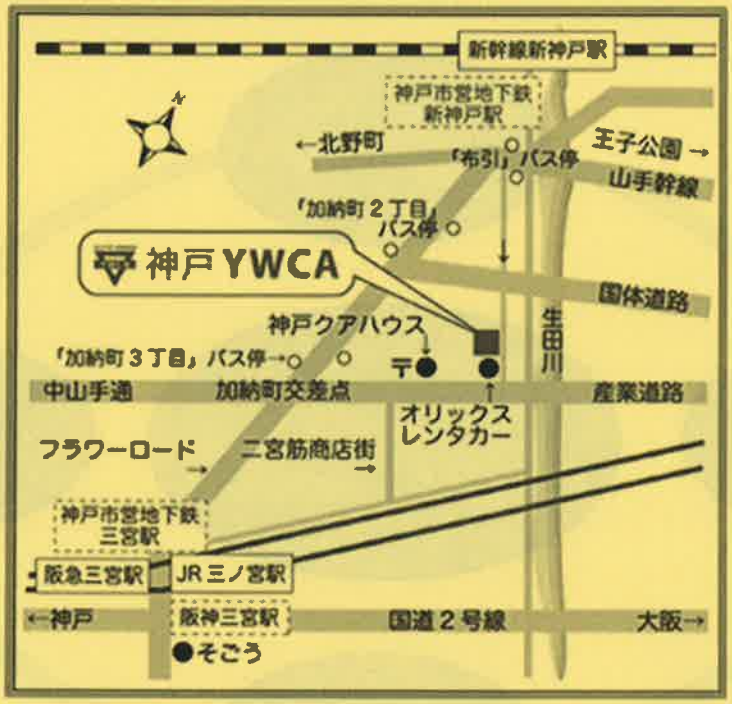
＊第1期、第2期、どちらも参加できます。

◆ 時　間：　9：30～13：00　3時間
◆ 定　員：　15人程度
◆ 対　象：
・正式な語教育を受けていない
16歳以上の外国人の方。
・当学院の試験に合格された方。
◆ 保育あり　※ご相談ください
◆ 費　用：　無料
◆ 会　場：　神戸YWCA会館(裏面 地図参照)

◆第1期
申込み締め切り：6月3日（火）
試 験 日：　6月3日（火）午後
4日（水）午前・午後

◆第2期
申込み締め切り：11月11日（火）
試 験 日：　11月11日（火）午後
12日（水）午前・午後

～神戸ＹＷＣＡ学院～
交通アクセス



●神戸 YWCA までのアクセス

- JR 三ノ宮、阪急神戸三宮、阪神、市営地下鉄三宮駅から
  徒歩 12 分
- 市営地下鉄新神戸駅、市営バス（92 系統）布引バス停から
  徒歩５分

お問い合わせ・お申し込み

神戸YWCA学院　担 当:斎藤(さいとう)・櫻井(さくらい)

〒651-0093　神戸市中央区二宮町 1 丁目 12-10

Tel:　078-231-6303　　Fax:　078-231-6692　　E-mail:　office@kobe.ywca.or.jp

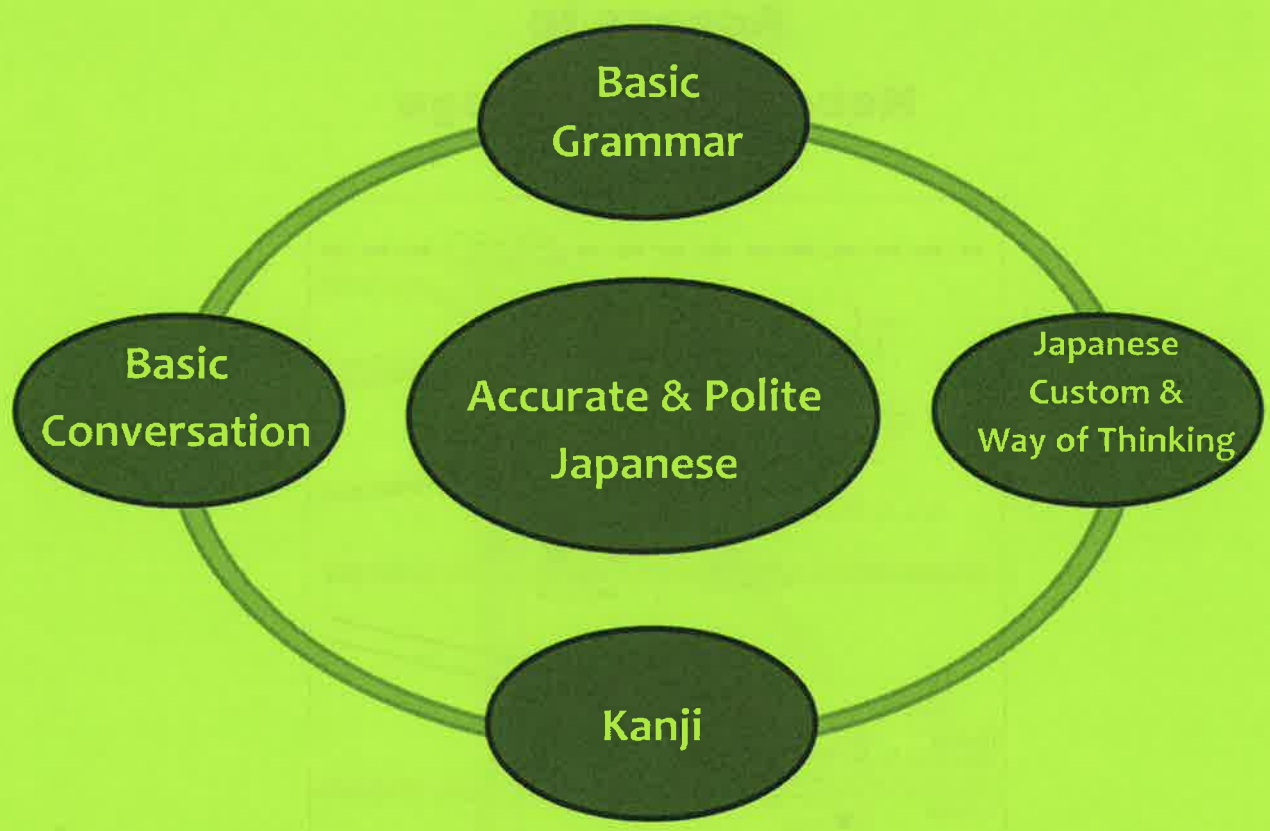
エンパワーするNGO YWCA

<英語版>

This course is commissioned by the Agency of Cultural Affairs

KOBE YWCA

Basic Japanese for Daily Use



◆ Schedule:

First Period June 9 - July 9 (Beginners Level)
(Mon., Tue., Wed.) 15 days

Second Period Nov. 17 - Dec. 17 (Intermediate Level)
First, third, fourth & fifth week (Mon., Tue., Wed.)
Second week (Tue., Wed., Thu.) 15days

*You can apply for both periods.

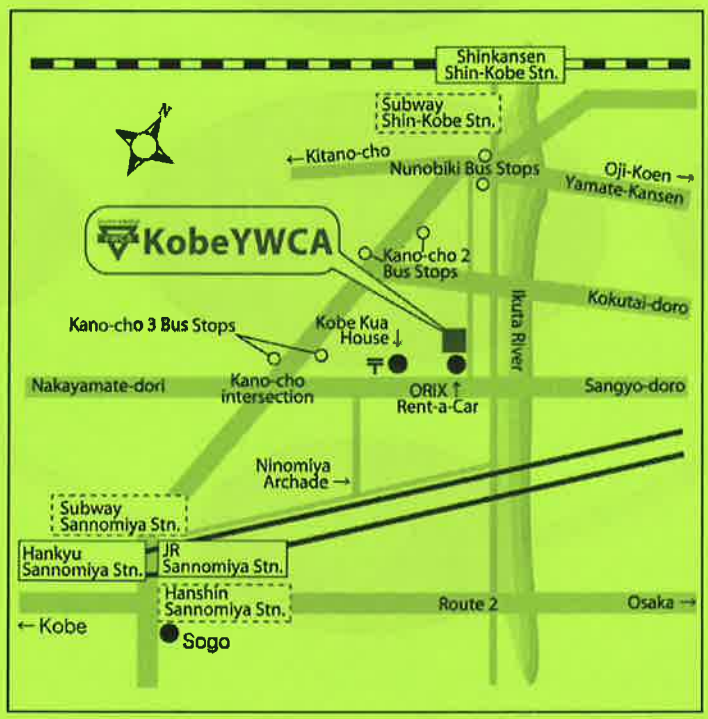
◆ Time: 9:30am-1:00pm (3 hours)
◆ Max. number of students: 15
◆ Applicants:
- Beginners at age 16 or above
- Those who pass the placement Test

◆ Day care is available upon request.
◆ Fee: No fee required
◆ Place : Kobe YWCA College
(see the map on back)

◆ First Period
Application deadline: June 3 (Tue.)
Placement test: June 3 (Tue.) Afternoon
June 4 (Wed.) Morning/Afternoon

◆ Second Period
Application deadline: Nov. 11 (Tue.)
Placement test: Nov. 11 (Tue.) Afternoon
Nov.12 (Wed.) Morning/Afternoon

Access to
Kobe YWCA College



- **15-min. walk from JR, Hankyu, Hanshin, Subway Sannomiya Stations.**
- **10-min. walk from Subway Shin-Kobe Station.**

Contact: Saito Akiko (Ms.) or Kaori Sakurai (Ms.)

For more information:

KobeYWCA College
Japanese Language Course

1-12-10 Ninomiya-cho, Chuo-ku, Kobe Hyogo 651-0093 JAPAN
tel. 078-231-6303 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA (Young Women's Christian Association) is a global network of women leading social and economic change in 125 countries worldwide. It advocates for peace, justice, health, human dignity, freedom and care of the environment, and has been at the forefront of raising the status of women since it was founded in 1855.

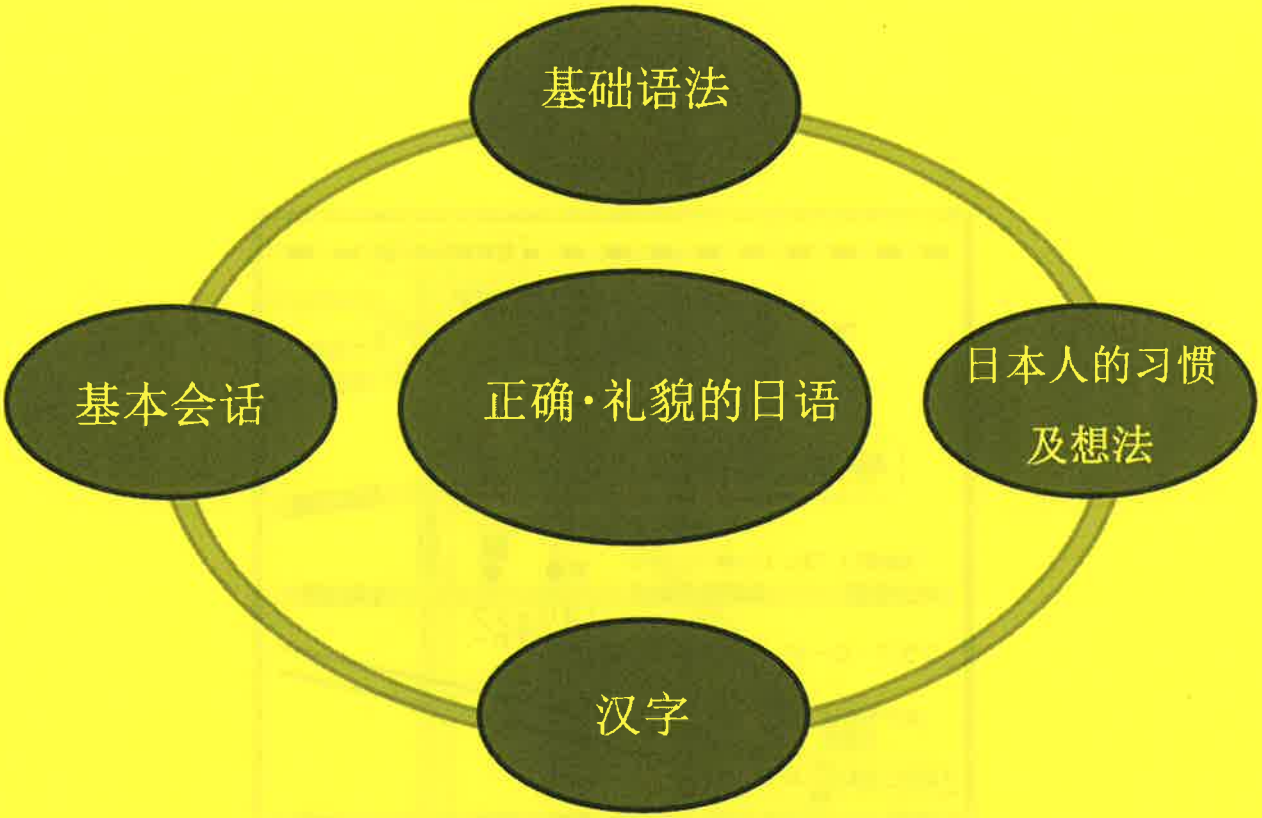
エンパワーするNGO YWCA

<中国語版>

平成 26 年受文化厅委托 为「生活在日本的外国人」举办的日语教育培训

神戸 YWCA “生活基础日语”

学习在日本生活必要的基础日语



◆ 日　　期：

第 1 期…　2014 年 6 月 9 日（周一）～7 月 9 日（周三）　**初级水平**

每周　周一、二、三　共计 15 天

第 2 期…　2014 年 11 月 17 日（周一）～12 月 17 日(周三)　**中级前期水平**

第 1 、 3 、 4 、 5 周（周一、二、三）

第 2 周（周二、三、四）　共计 15 天

＊第 1 期及第 2 期均可参加。

◆ 时　　间：　9：30～13：00　3 小时

◆ 招生名额：　15 人左右

对　　象：·没有正式接受过日语教育的 16 岁以上的外国人。

·通过了我院考试的人。

◆ 有儿童保育　※请联系

◆第 1 期　报名截止：6 月 3 日（周二）

考试日程：　6 月 3 日（周二）下午

4 日（周三）上午・下午

◆第 2 期　报名截止：11 月 11 日（周二）

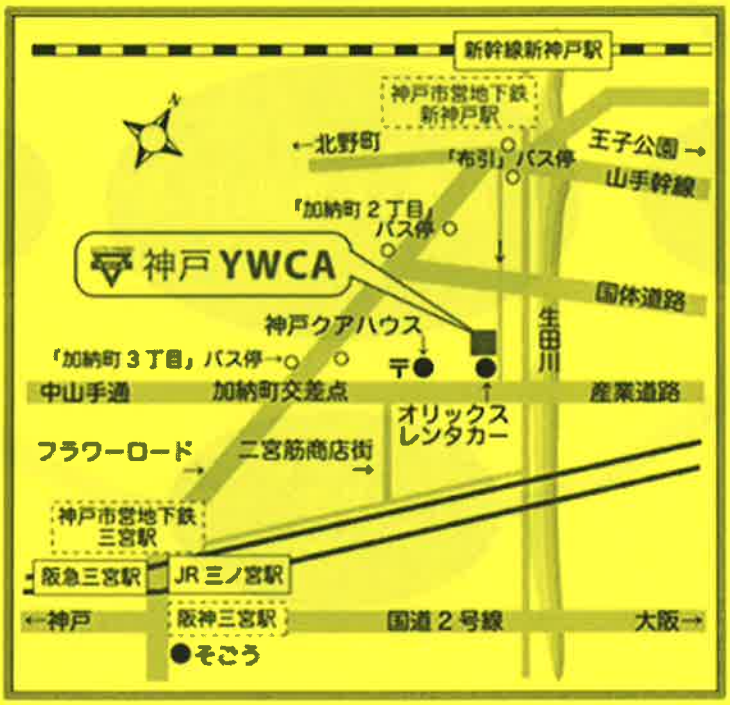
考试日程：11 月 11 日（周二）下午

12 日（周三）上午・下午

◆ 考试会场：神戸ＹＷＣＡ会馆（请参照背面地图）

◆ 费　　用：　免费

～神戸 YWCA 学院～
交通地图



●到神戸 YWCA 的交通

・从 JR 三ノ宫、阪急神戸三宫、阪神三宫、市营地铁三宫站
步行 12 分钟

・从市营地铁新神户站、市营公交车（92 系统）布引站
步行 5 分钟

咨询・申请

神戸ＹＷＣＡ学院　　联系人：　斋藤・樱井
〒651-0093　神戸市中央区二宮町 1 丁目 12-10
Tel：078-231-6303　　Fax：078-231-6692　　E-mail：office@kobe.ywca.or.jp

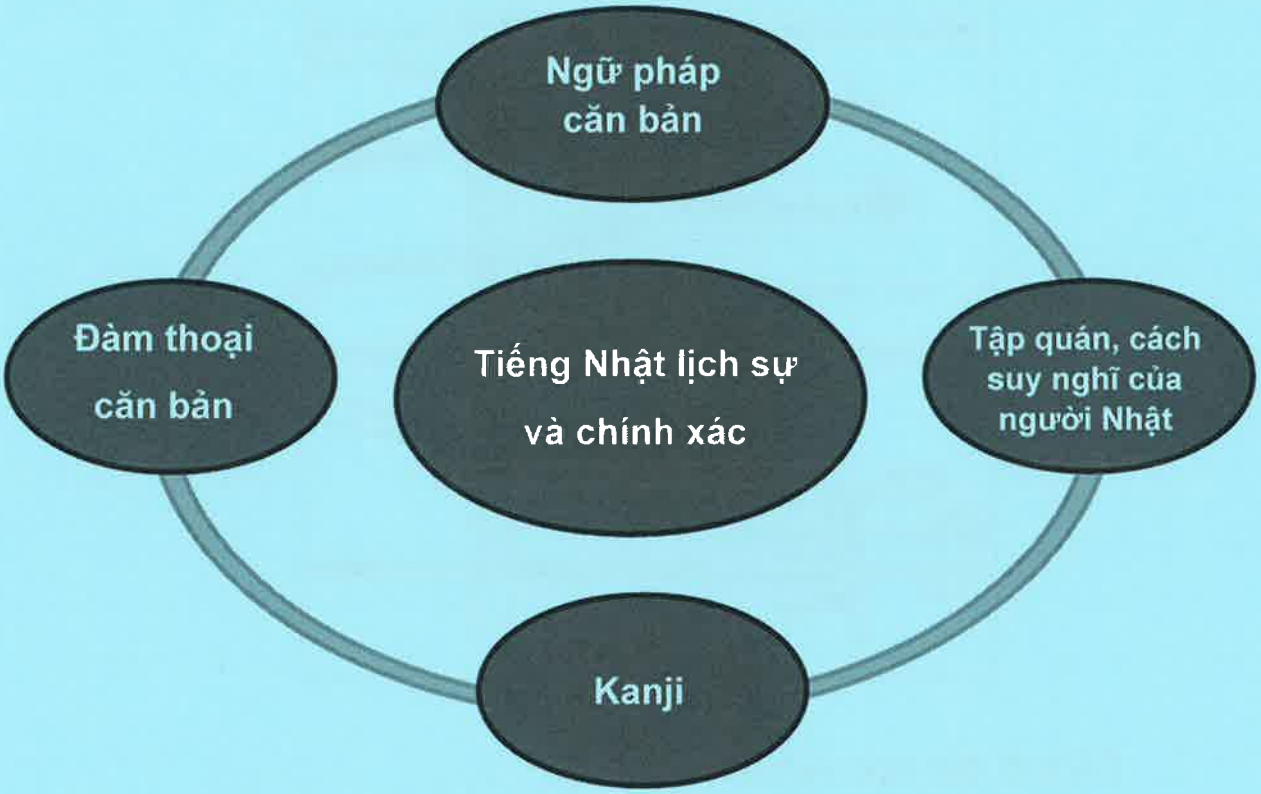
エンパワーするNGO YWCA

<ベトナム語版>

Dự án giáo dục tiếng Nhật dành cho " Người nước ngoài đang sinh sống ở Nhật" do Bộ Văn hoá ủy thác năm 2014

Kobe YWCA

"Tiếng Nhật căn bản cho cuộc sống hàng ngày"



◆ Lịch học:

Học kỳ 1...Ngày **9** tháng **6** (thứ Hai) ~ ngày **9** tháng **7** (thứ Tư) năm 2014 **Trình độ sơ cấp**

Thứ Hai, thứ Ba, thứ Tư mỗi tuần Toàn bộ là 15 buổi

Học kỳ 2...Ngày **17** tháng **11**(thứ Hai) ~ **17** tháng **12** (thứ Tư) năm 2014 **Trình độ tiền trung cấp**

Tuần lễ thứ 1, 3, 4, 5 (Thứ Hai, thứ Ba, thứ Tư)

Tuần lễ thứ 2 (Thứ Ba, thứ Tư, thứ Năm) Toàn bộ là 15 buổi

*Bạn có thể chọn học kỳ 1 hoặc học kỳ 2 để tham gia.

◆ Thời gian: 9:30 sáng~1:00 chiều (3 giờ)

◆ Số lượng học viên qui định: 15 người

◆ Đối tượng:

- Người không đang học ngôn ngữ một cách chính thức
  Người nước ngoài trên 16 tuổi
- Người đã thi đậu kỳ thi của học viện này

◆ Có nhận giữ trẻ em

* Xin hãy bàn thảo với Học viện

◆Học kỳ 1

Ngày chót đăng ký : Ngày 3 tháng 6 (thứ Ba)

Ngày thi: Ngày 3 tháng 6 (thứ Ba) Buổi chiều

Ngày 4 (Thứ Tư) Buổi sáng / buổi chiều

◆Học kỳ 2

Ngày chót đăng ký : Ngày 11 tháng 11 (thứ Ba)

Ngày thi: Ngày 11 tháng 11 (thứ Ba) Buổi chiều

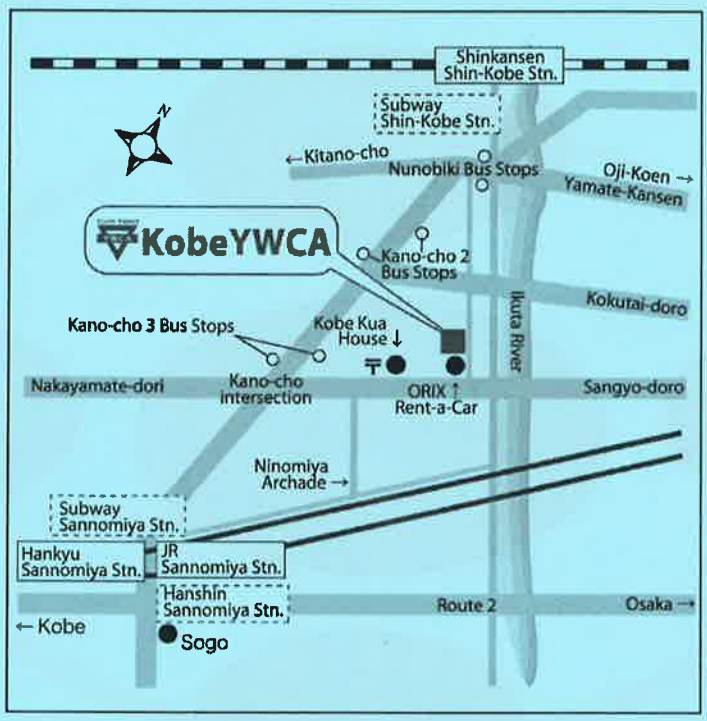
Ngày 12 (Thứ Tư) Buổi sáng / buổi chiều

◆ Chi phí: Miễn phí

◆ Địa điểm: Hội quán Kobe YWCA

(Xin xem bản đồ ở mặt sau)

Cách đi đến **học viện Kobe YWCA**



Cách đi đến học viện Kobe YWCA

- Đi bộ khoảng 12 phút từ ga JR Sannomiya, Hankyu Kobe Sannomiya, Hanshin, Xe điện ngầm Sannomiya .
- Đi bộ khoảng 5 phút từ ga xe điện ngầm Shin-Kobe, trạm xe bus Nunobiki (tuyến 92)

Hỏi đáp thông tin, đăng ký học

Học viện Kobe YWCA **Người phụ trách: Saito, Sakurai**

〒 651-0093 Kobe-shi, Chuo-ku, Ninomiya-cho 1-12-10

Số điện thoại: 078-231-6303 Fax: 078-231-6692 E-mail: office@kobe.ywca.or.jp

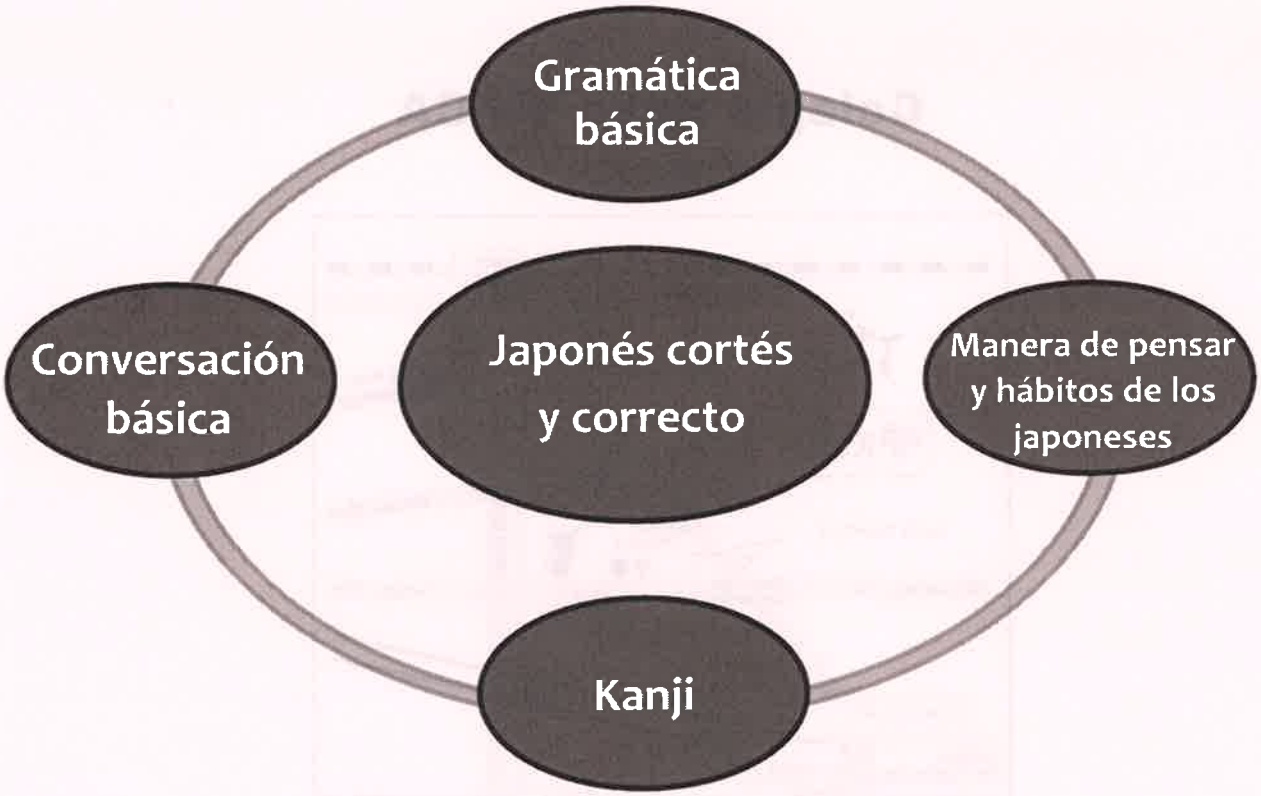
エンパワーするNGO YWCA

<スペイン語版>

Curso de Idioma Japonés para "Extranjeros que viven en Japón" consignado por la Agencia de Asuntos Culturales, año 2014

KOBE YWCA

Japonés básico para uso diario



◆ Periodo:

Primer periodo: lunes 9 de junio - miércoles 9 de julio de 2014 **Nivel inicial**
Todos los lunes, martes y miércoles, 15 días en total

Segundo periodo: lunes 17 de noviembre - miércoles 17 de diciembre **Nivel intermedio primera etapa**
1ª, 3ª, 4ª y 5ª semana (lunes, martes, miércoles)
2ª semana (martes, miércoles, jueves) 15 días en total

*Puede aplicar para ambos periodos.

◆ Hora: 9:30am-1:00pm (3 horas)
◆ Capacidad: cerca de 15 personas
◆ Pueden asistir:
• Extranjeros que tienen más de 16 años de edad que no han recibido una educación formal de lenguaje.
• Quien ha pasado la prueba de nuestro Instituto.
◆ Hay servicio de guardería
*Sírvase consultar.

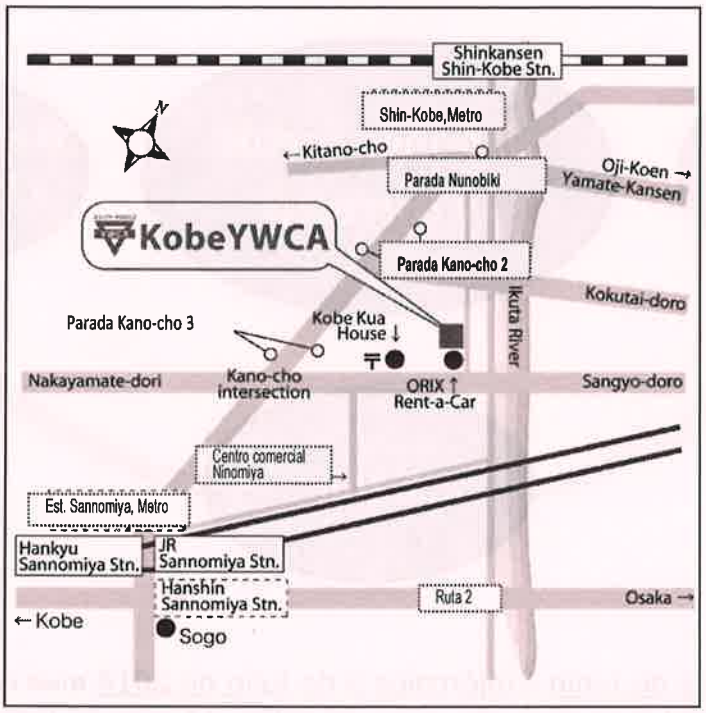
◆Primer periodo:
Fecha límite de inscripción: martes 3 de junio
Día de la prueba: martes 3 de junio (pm),
miércoles 4 de junio (am y pm)

◆Segundo periodo:
Fecha límite de inscripción: martes 11 de noviembre
Día de la prueba: martes 11 de noviembre (pm),
miércoles 12 de noviembre (am y pm)

◆ Costo: gratuito
◆ Lugar: Colegio Kobe YWCA
(ver el mapa en la parte posterior)

Colegio Kobe YWCA

Acceso



- Acceso al Colegio Kobe YWCA

  - 12 minutos a pie desde la estación Sannomiya de las líneas JR, Hankyu, Hanshin y Metro.
  - 5 minutos a pie desde la estación Shin-Kobe (Metro), parada Nunobiki del autobús urbano No. 92

Información, Inscripción:

Colegio Kobe YWCA Encargadas: **Srta. Saito, Srta. Sakurai**
CP 651-0093 Kobe-shi, Chuo-ku, Ninomiya-cho 1-12-10
Tel. 078-231-6303 Fax. 078-231-6692
E-mail: office@kobe.ywca.or.jp

「生活のための基礎日本語」申込書

●ファクス、または郵送でお申し込みください。

FAX:078-231-6692

住所:〒651-0093 神戸市 中央区 二宮町 1-12-10

氏名			紹介者		
住所	〒				
連絡先	TEL FAX		E-Mail		
生年月日	19 / / 生まれ	年齢 ( )歳		性別	(男 ・ 女)
国籍		母国語		来日	＿＿＿年 ＿＿月

日本語学習暦 ( )年( )か月

どこで 学校/日本語学校/地域の日本語教室/その他

教科書

●プレイスメントテスト希望日

( )月( )日 (午前 ／ 午後)

何か希望があれば書いてください。

事務局記入欄(何も書かないでください)

＊ご記入いただいた個人情報は、教室運営、神戸YWCA学院からの案内の送付以外には使用しません。

神戸YWCA学院 TEL:078-231-6303 / FAX:078-231-6692

"Basic Japanese for Daily use"
Application Form

●Plese apply by fax or mail

Fax :078-231-6692

Address: 1-12-10 Ninomiya-cho, Chuo-ku, Kobe-shi 651-0093

Name			Name of introducer		
Street Address	〒				
Contact	TEL FAX		E-Mail		
D.O.B	19 / / 生まれ		Age ( )	Sex	(M ・ F)
Nationality		Language		Coming to Japan	Year_____ Month_____.

Length of Japanese learning number of years and months (yr. mo)

Where? (please write down the name of schools including volunteer classes)

Textbooks (please write down the name of book)

● Preferred date for placement Test

Month_____ Date_____ (AM ／ PM)

Please write down if you have any concerns and/or questions.

Please leave this space open.

*The personal information given above will NOT be used for any other purposes.

Kobe YWCA college TEL:078-231-6303 / FAX:078-231-6692

エンパワーするNGO YWCA

「生活・工作基础日语」申请书

姓名		介绍者	
地址 住所	〒		
联络 連絡先	TEL FAX	E-Mail	
出生年月日	19　/　/　生まれ	年龄（　）歳	性别	（男・女）
国籍		母语	

日语学习　（　）年（　）ヶ月

地方　学校/日本語学校/地域の日本語教室/その他

教科书

希望栏

事務局記入欄

神戸YWCA学院

TEL 078-231-6303
FAX 078-231-6692

Giấy đăng ký 'lớp tiếng Nhật cơ bản để sinh sống'

●Xin vui lòng đăng ký bằng FAX hoặc qua bưu điện.

Số FAX: 078-231-6692

Địa chỉ: 〒651-0093 Kobe-shi Chuo-ku Ninomiya-cho1-12-10

Họ và tên		Người giới thiệu	
Địa chỉ	〒		
Số điện thoại và/hoặc số FAX	FAX	E-Mail	
Ngày sinh (năm/tháng/ngày)	19 / /	( ) tuổi	Nam/Nữ
Quốc tịch	Tiếng mẹ của bạn là gì?	Khi nào đến Nhật Bản?	____năm ____tháng

●Xin vui lòng chọn ngày nào tiện hơn để đi thi xét lớp. Nếu muốn chọn ngày khác thì ghi ngày dưới.

( )Tháng( )Ngày (Sáng / Chiều)

Nếu có gì thắc mắc, xin vui lòng ghi sau.

Ghi chú (YWCA KOBE sử dụng)

＊Chúng ta sử dụng thông tin của bạn chỉ trong khi mở lớp, gửi thư cho bạn thôi.

YWCA KOBE TEL:078-231-6303 / FAX:078-231-6692

Japones Basico para la vida Cotidiana

スペイン語

エンパワーするNGO YWCA

「生活のための基礎日本語」申込書

●ファクス、または郵送でお申し込みください。

Direccion FAX:078-231-6692

住所:〒651-0093 神戸市 中央区 二宮町 1-12-10

nombre　　Nombre del Referente

氏名		紹介者	
住所 Direccion	〒		
Contacto 連絡先	TEL FAX	E-Mail	

Fecha de Nacimiento 生年月日	19 / / 生まれ	edad 年齢 ( )歳	sexo 性別	hombre mujer (男・女)
Nacionalidad 国籍		Idioma 母国語	Ingreso 来日 A JAPON	年 月

日本語学習暦 ( )年( )か月
Estudio Años meses
Japones

どこで lugar

学校/日本語学校/地域の日本語教室/その他 donde estudio japones

教科書 Libros que utilizo

●プレイスメントテスト希望日 Dia de preferencia para el exámen

mes ( )月( )日 dia (午前 / 午後) mañana Tarde

何か希望があれば書いてください。

Por favor escribir alguna pregunta o comentario

事務局記入欄(何も書かないでください) dejar el espacio en blanco

*ご記入いただいた個人情報は、教室運営、神戸YWCA学院からの案内の送付以外には使用しません。

神戸YWCA学院 TEL:078-231-6303 / FAX:078-231-6692

取組２　　インタビュー結果

□生活日本語Ⅰ

・初めて日本語を勉強したが、説明もわかりやすく、よく理解できた。（複数名）

・授業のペースはちょうどよく、勉強しやすかった。（複数名）

・文字も書けるようになり、自信がついた。（複数名）

・知っている内容もあったが、実際の使い方もわかった。

・もっと日本語を勉強して、病院での日本語、懇談会での担任の先生の話が分かるようになりたい。

・プライベートクラスよりも学習者や先生とのやり取りが多く、非常に勉強になった。

・リラックスして勉強できた。途中休んだのは体の調子が悪かったため、とても残念だった。

□生活日本語Ⅱ

・これまで、きちんとした日本語のクラスで勉強したことがなかったので、とても役に立ったし、満足している。（複数名）

・自分のレベルに合った日本語が勉強できた。（複数名）

・文法の整理、話したり聞いたりする練習、漢字の勉強などがバランスよく構成されていたと思う。（複数名）

・託児ができるプログラムなので、助かった。安心して勉強に集中できた。（複数名）

長い間日本にいて、ある程度日本語に自信があったが、神戸 YWCA で勉強してみると、丁寧な日本語、正しい日本語など、これまで知らなかったこともたくさん勉強できた。

・地域のボランティア教室ではなく、プロの先生に教えてもらった。とても効果的な学習ができたと思う。

・5 週間勉強してみて、ますます日本語を勉強したくなった。こうしたプログラムがほかにもあればいいと思う。

取組３

夏祭り（二宮神社・二宮地域福祉センター）

日本人

・意外によく話せて、段取りややり方を説明するときも困らなかった。

・お客さんの対応を任せても、十分できていた。人とのコミュニケーションがよくできている。

・まじめによく働いてくれた。

・わかるやさしい日本語にしようと、気を使った。

・外国人でもいっしょにできるんやなあと思った。

学習者

・屋台でお客さんの相手をするのは、初めての経験で楽しかった。

・親切にしてもらって、楽しかった。（同年齢の息子がいる人と同じ売り場）

・日本人の話は、まあまあわかった。お客さんとも話ができた。

・こどもといろいろな話ができた。（子どものお客さんが多かった）

・日本人はみな、親切だった。

防災訓練へ向けての交流会、及び防災訓練

日本人

・いろいろな外国の話が聞けた。

・外国のおやつがめずらしかった。楽しかった。

・こどものいる人に、地域の子育てサークルを紹介した。

・なんとなく、コミュニケ―ションができるもんだなあと思った。話すとき、やさしい日本語になるように気を付けた。

・防災訓練の時、交流会で顔なじみになったから、話しかけやすかった。

・防災訓練にたくさん、来てくれてうれしかった。去年は一人もなかったから。

・これからも地域のお付き合いができるよう、いろんな行事に誘ってみようと思っている。

外国人

・日本の面白い訓練を初めて経験した。こんな訓練も必要だと思った。

・地震体験車に乗ったが、こわかった。自国では地震がないので。

・（訓練後、）ぜんざいを初めて食べた。面白い食べ物だった。おいしかった。

・消防署の説明は難しくてあまりわからなかったが、実物をみたらやり方もわかった。

・消防署の説明わからないとき、ほかの日本人がやさしい言葉で説明してくれた。

・これから誘ってもらえたら、地域の行事に参加したい。